

新しい「地域ごとのまちづくり計画」の具体的な内容をご紹介します!

○計画の主な内容

計画期間 2021年度から2030年度の10年間

将来像 「すべての世代の住民が、優しくていいところだなあと思えるまち」

- 基本目標**
- 1)安心・安全で快適なまちづくり
 - 2)健康で安心して暮らせるまちづくり
 - 3)人に温かく豊かな心をはぐくむまちづくり
 - 4)いきいきと活力のあるまちづくり
 - 5)花や緑があふれ自然と共生する庭園のまちづくり
 - 6)ふれあいと協働のまちづくり
- 134号でご紹介しました
135号でご紹介しました
本号でご紹介します★

2020年5月、中山台コミュニティ地区の「地区ごとのまちづくり計画」ができました。計画の概要は133号でお伝えした通りです。134号から3回連続で計画の中身をご紹介してきましたが、今回が最終回です。

計画には、
・住民が行うこと、
・市が行うこと、
・市と住民が協働で行うこと
があるニャ!

基本目標 5 花と緑があふれ自然と共生する庭園のまちづくり

5-1 緑化環境の整備と推進

●住宅地周辺の環境整備
緑化環境対策活動部が中心となって、残存緑地の保全管理を行います。



●美しい街路の形成
街路樹はまちの景観の重要な一要素であり、住民の立場からその維持管理に協力します。



5-2 公園の整備

- 中山台みどり公園(桜台 1-10)
住民の交流の場として、幼児から高齢者までが利用できるよう維持・管理に努めます。
- 中山山荘公園(中山台 1-422)
人通りも少なく、安全確保が困難なため、公園として利用しませんが、転用もしません。
- 中山台交差点横の空き地(エコの森)
公園化の実現に向け取り組んでいきます。
- 桜台第1公園(桜台 1-9)、桜台第2公園(桜台 2-41)、中山桜台公園(桜台 4-12)
「桜台自治会公園の考え方」に基づき、子どもの遊び場、住民の憩いの場として整備します。健康遊具の配置、ベンチなどの安全点検と塗り替え、樹木の継続的な剪定、防災機能を備えた公園などについて検討します。



- 桜台第3公園(桜台 7-6)
「子どもの遊び場」「憩いの場」であるほか、一斉清掃などの地区行事の「集合場所」としても利用しています。災害時対応のための「資材庫」を整備しています。砂場の砂の入れ替え、植栽の整備が必要です。
- 中山中央公園(桜台 6-12)
マンションに隣接した広大な公園です。維持管理は市が行いますが、必要に応じて協力していきます。
- 五月台第1公園(五月台 2-17)、中山五月台公園(五月台 3-9)、五月台第2公園(五月台 4-2)
これらの3公園は、「こうぼうず」がアドプト団体となり、子どもたち遊び場、住民の憩いの場として維持管理を行っています。中山五月台公園には「こうぼうず」の工房、防災倉庫を設けています。中山五月台公園は、健康促進、防災対応など多機能な公園として充実させていきます。



基本目標 6 ふれあいと協働のまちづくり

6-1 コミュニティ活動の推進

●住民の総意にもとづく活動
広報活動の充実、活動実績等により、地域コミュニティの重要性に対する住民の意識の向上を図り、活動組織を充実します。

●活動ボランティアの育成・確保
人材の不足・高齢化が深刻です。若い世代の参画が得られるよう検討します。



計画は毎年見直しを行いながら推進していきます。

第136号

中山台 コミュニティ12



謹賀新年



今月の中山台コミュニティベストショット 公社住宅の門松

編集：中山台コミュニティ広報活動部
発行日：2021年(令和3年)1月9日
発行責任者：中山台コミュニティ会長 畑中康治
編集責任者：中山台コミュニティ運営委員長 飯室裕文

宝塚市中山台コミュニティセンター
住所：〒665-0877 宝塚市中山桜台 5-15-2
TEL：0797-89-9605
URL：http://www.nakayama-comm.jp/

中山台コミュニティ会長より 新年のご挨拶



よもやコロナ禍の真っ只中の時期に新年を迎えようとは思いませんでした。皆さまも同じ思いでおられることでしょう。今年も中山台コミュニティをどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、令和2年度は、中山台コミュニティでは第6次総合計画に基づいた「地域ごとのまちづくり計画」の実行が始まりました。この「まちづくり計画」は、今後2030年度まで継続する基本目標の取り組みについて毎年の実行・チェック・必要ならば見直しを行っていきます。

まちの将来像は、～すべての住民が、優しくていいところだなあと思えるまち～を維持・目標としています。

その取り組みの項目にあります「災害発生時の対応」について議論を進めてきました結果、従来の「中山台コミュニティ地区防災計画」の一部を見直しさせていただきました。

主な見直し点は、災害対策本部はコミセン(使用できない場合、五月台中学校)に置く・中山台コミュニティ会長を本部長とし、コミュニティ運営委員長などで構成することになります。その他の項目についても今後も引き続き議論してまいります。



今年もコロナ禍の中、皆さま方にはコロナ対策を十二分に取っていただきまして、くれぐれもお体をご自愛ください。

コロナの収束にはまだまだ時間はかかりますが、出来る事は行い影響を最小限に抑えたいものです。皆さまと一緒に頑張りましょう。

畑中 康治